

施策名：スポーツによる地域の元気づくり

事業名	担当課・室名	ページ
ラグビーワールドカップ開催準備事業	芸術文化スポーツ局国際スポーツ誘致・推進室	1 / 3
国際スポーツ大会誘致推進事業	芸術文化スポーツ局国際スポーツ誘致・推進室	2 / 3
スポーツ交流地域活力創出事業	芸術文化スポーツ局国際スポーツ誘致・推進室	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	ラグビーワールドカップ開催準備事業		事業期間	平成27年度～平成31年度		政策区分	スポーツの振興	
						施策区分	スポーツによる地域の元気づくり	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ局国際スポーツ誘致・推進室		評価者	ラグビーワールドカップ2019推進室長 中村 剛士	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	ラグビーワールドカップ2019大分開催に向けて、開催準備の着実な実施に加え、競技普及や県民の機運醸成が求められている。	事業の目的	ラグビーワールドカップ2019大分開催成功に向け、子ども達へのラグビー普及や機運醸成のためのイベント開催を通じて、地域の元気づくりを図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①ラグビーワールドカップ2019大分県推進委員会負担金	①	17,771	総コスト	128,775	1,189,702	748,051
(1)大会を盛り上げる気運醸成活動 ・One Rugby, One Oita大作戦(地域のイベント等を活用した機運醸成イベント)の実施 ・ニュージーランドロトルア市の高校生を招聘し、国際交流試合を開催	②		事業費	118,046	1,149,702	598,051
(2)ラグビーの普及活動 ・保育園、幼稚園でのラグビーボールを使った遊びの実施(35園、35回) ・小学校でのタグラグビー授業実施(21校、32回)	③		(うち一般財源)	118,046	1,122,770	222,148
(3)大会開催の準備 ・ラグビーワールドカップ2019大分県推進委員会、幹事会、専門委員会の開催	④		人件費	10,000	40,000	150,000
	計	17,771	職員数(人)	1.00	4.00	15.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価割合	評価
	One Rugby, One Oita大作戦回数(回)	目標値		12	24	60	60		100%	目標値					
	実績値		17	58				実績値							
	達成率		141.7%	241.7%				達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果
One Rugby, One Oita大作戦参加者数(人)	目標値		2,400	16,000	32,000	160,000	a	ラグビーワールドカップ2019の気運醸成を図るイベントをOne Rugby, One Oita大作戦として実施し、大会開催を県内外に広く周知することができた。
	実績値		3,369	30,009				
	達成率		140.4%	187.6%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 有料観客試合(ジャパンラグビートップリーグ)における更なる集客 大会開催の着実な準備 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度のラグビーワールドカップ2019大分開催に向け、本年5月の予選組分け抽選や秋の試合日程公表を契機として、ラグビーの競技普及や大会機運醸成の取組を拡充 大会を支えるボランティア募集の仕組みづくりや交通輸送計画をはじめとする大会開催のための各種計画策定 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	国際スポーツ大会誘致推進事業		事業期間	平成27年度～平成32年度		政策区分	海外戦略の推進	
						施策区分	海外に開かれたネットワークづくりと輸出促進	
総合評価	A 継続・見直し		事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ局国際スポーツ誘致・推進室		評価者	芸術文化スポーツ振興課長 高屋 博	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	国では、2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに訪日外国人旅行者数年間4,000万人を目指すとしており、海外との交流人口拡大が見込まれることから、この機会を捉えて、国際的に注目度の高いスポーツ大会や大会参加チームの事前キャンプを誘致し、選手と地域住民との交流や情報発信等に取り組むことが求められている。	事業の目的	国際的に注目度の高いスポーツ大会や大会参加チームの事前キャンプを誘致し、県民のスポーツに対する関心を高めるとともに、スポーツを行い、観戦し、支える、スポーツ文化の確立と地域資源を活用したスポーツツーリズムを推進することを通じて、活力あふれる地域づくりを推進する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ誘致に取り組む市町への支援 競技用具の購入に対する支援(中津市、日田市)	①	7,000	総コスト	27,130	29,688	35,339
②国際スポーツ大会や事前キャンプへの支援 フェンシング日韓代表等サマーキャンプ、青山学院大学陸上競技部及びフェンシングW杯日米代表等事前キャンプの実施支援(キャンプ受入時には、県民と選手等との交流事業を実施)	②	5,092	事業費	13,130	15,688	21,339
③国際スポーツ大会や事前キャンプの誘致活動 2020東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致に向けた誘致活動 競技団体等訪問:29箇所	③	3,389	(うち一般財源)	13,130	15,688	21,339
	④		人件費	14,000	14,000	14,000
	計	15,481	職員数(人)	1.40	1.40	1.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(32年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(32年度)	評価割合	評価
	市町への競技用具等導入支援 件数(件)	目標値		2	3	5		45%	誘致のために訪問した関係 団体数	目標値	25	26	27		
	実績値		2					実績値	32	29					
	達成率		100.0%					達成率	128.0%	111.5%					
国際スポーツ大会や事前キャンプ誘致時の交流事業(回)	目標値		2	3	4	5	33%	目標値							
	実績値		4	3				実績値							
	達成率		200.0%	100.0%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(32年度)	評価	事業の成果
国際スポーツ大会や事前キャンプ誘致数(回)	目標値		2	3	4	5	a	誘致活動の結果、3つのキャンプが実現し、参加チームから本県の受入体制に好印象を得るとともに、国内外のトップレベルの選手と県民との交流を通じ、競技力の向上やスポーツ振興等を図ることができた。
	実績値		4	3				
	達成率		200.0%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に向け、本県でキャンプを行った国や競技の継続的なキャンプ受入 事前キャンプの受入を地域のグローバル化、観光振興等に繋げる取組の実施 	今後の事業方針				
	<ul style="list-style-type: none"> 関係を築いた国との事前キャンプ受入合意を目指した重点的な誘致活動を実施 県内市町村、競技団体と密接に連携した誘致活動及び事前キャンプを実施 国際基準に適合する競技施設を有する市町が行う、ウエイトトレーニング機器等の整備支援を実施 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	スポーツ交流地域活力創出事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	スポーツの振興	
						施策区分	スポーツによる地域の元気づくり	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ局国際スポーツ誘致・推進室		評価者	芸術文化スポーツ振興課長 高屋 博	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県内では現在3つのプロスポーツチームが活動しており、スポーツを「みる」・「ささえる」などのスポーツ文化が定着しつつある。また、スポーツ施設など優れた地域資源のさらなる活用が求められている。	事業の目的	スポーツ文化の確立と県民スポーツの振興を図るため、プロスポーツ等の高度で質の高いスポーツを活用し、県民がスポーツに親しむ機運醸成を図る。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①プロスポーツ県民ふれあい交流事業 プロスポーツ選手による小学校や地域イベントへの訪問等、県民がプロスポーツに触れる機会を提供する取組を実施(3チーム合計52箇所訪問) 県のスポーツ振興の取組をPRする動画を制作・放映し、県民がスポーツを応援する機運醸成を図った。	①	22,730	総コスト		26,084	25,730
	②		事業費		23,084	22,730
	③		(うち一般財源)		23,084	22,730
	④		人件費		3,000	3,000
	計	22,730	職員数(人)		0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	学校等訪問回数(回)	目標値		52	56	56	100%		目標値						a
		実績値		52					実績値						
		達成率		100.0%					達成率						
		目標値							目標値						
		実績値							実績値						
		達成率							達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
	学校等訪問での交流人数(人)	目標値		3,120	3,360	3,360	a	交流事業の訪問先から「本物に触れる経験は子どもたちにとってかけがえのないものだと感じた」といった感想が寄せられるなど、スポーツに親しむ機運の醸成が図られた。
		実績値		3,575				
		達成率		114.6%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・より多くの県民がプロスポーツチームとの交流を図る場を提供するための事業の周知	今後の事業方針 ・小学校と併せ、総合型地域スポーツクラブに対しても文書による周知を行い、幅広い年齢層の県民にプロスポーツチームとの交流を図る場を提供				